

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和2年8月5日（水）15時00分～16時40分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、松井安全審査官、
田上係長、久川係員
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室 担当6名
(ウェブ会議システムにより参加)

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。

- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
- 1号機原子炉建屋カバー解体に伴う実施計画の扱いについて
 - ✓ オペフロ全体を覆う大型カバーを設置するにあたって、準備工事の際に大型カバーと干渉する既設の原子炉建屋カバーを解体する必要がある。
 - ✓ 原子炉建屋カバーの解体に伴い、実施計画の記載の適正化が必要となるため、大型カバー設置の実施計画申請時期に合わせて記載の適正化を図ることとしたい。
- 次回の特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
 - ✓ 廃棄物保守管理計画については、公表した計画内容について説明することが可能。
 - ✓ 運転上の制限（LCO）見直しについては、今月に予定している申請の内容を踏まえて説明することが可能。
 - ✓ 放射性物質分析・研究施設第2棟については、現在安全評価について社内で検討を行っているところであり、検討結果のとりまとめが9月末となることから次々回での説明としたい。
 - ✓ 地震・津波対策については、建屋開口部の閉止に関する評価について説明することが可能。
 - ✓ 原子炉建屋滞留水の処理については、現時点の進捗状況について説明することが可能。
 - ✓ 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた現場調査については、今月中に行う

予定の線量スペクトル測定結果について説明することが可能。

- ✓ 3号機の燃料取り出しについては、現時点における進捗状況及び燃料取り出しに係る吊り上げ制限荷重の見直しについて説明することが可能。
- ✓ ALPS 処理水の全ベータ値と主要 7 核種の合計値との乖離については、第 79 回会合におけるコメントへの回答及び追加の分析結果について説明することが可能。
- 次々回の特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
 - ✓ ALPS スラリーの安定化処理設備の設置について、申請を踏まえた説明が可能。
 - ✓ 長期保守管理計画の策定については、運用の妥当性評価を踏まえた内容の説明が可能。
 - ✓ 原子炉注水停止試験結果については、今月に予定している 2 号機の試験結果について説明することが可能。

○原子力規制庁は上記の説明内容を確認するとともに、以下についてコメントした。

【実施計画変更認可申請の状況および今後の申請予定について】

- 分析第 2 棟の設置の申請について、記載すべき設計方針の記載がないなど不十分なものであったため、今後の申請については設備等の設計方針をしっかりと検討した上で申請内容に不足がないようにすること。

【1号機原子炉建屋カバー解体に伴う実施計画の扱いについて】

- 現行の実施計画の記載内容と計画している作業内容を比較・整理し、追加で安全上考慮する点がないかどうか及びその理由を説明すること。

【次回及び次々回の特定原子力施設監視・評価検討会の議題について】

- LCO 見直しについては、申請内容を確認して大きな論点があれば議題とするか判断することとする。また、LCO 見直しの全体の方向性については、規制庁で考え方を提示し、再度検討会において議論する。
- 廃棄物保管管理計画について、まずは面談等で策定した計画の内容について説明すること。
- 3号機の燃料取り出しに係る吊り上げ制限荷重の考え方については、事前に示すこと。

6. 資料

- 実施計画変更認可申請の状況および今後の申請予定
- 福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋カバー解体に伴う実施計画の扱いについて
- 特定原子力施設監視・評価検討会 第 83 回、第 84 回会合の議題に関

するご相談

以上